

平成 20 年 11 月 20 日
オリエンタル酵母工業株式会社

脂肪分 60%カロリー比高脂肪飼料「HFD-60」発売

オリエンタル酵母工業(株)(本社：東京都板橋区、社長：中村隆司)は、これまで粉末状で提供いたしておりましたマウス・ラット実験動物用高脂肪飼料「HFD-60」(カロリー比で脂肪分を 60%にした飼料)を、今般新たに固型状にて発売いたしました。

近年、生活習慣病は予防という観点からも着目されるようになり、大学や製薬メーカーのみならず、健康食品メーカーなどでもその研究が加速しております。また、平成 20 年 4 月から「特定健康診査・特定保健指導」が始まり、メタボリック症候群が注目される中、遺伝子の異常による動物モデルに加え、食餌性の肥満モデル動物を用いた研究が盛んになっており、そのための高脂肪飼料は特に需要が増えてまいりました。

しかしながら、これまでは、添加する脂肪源やその配合量によっては固型化することが出来ず、ハンドリングの悪い粉末品での供給を余儀なくされておりましたため、研究者の方々から様々なご要望をいただいております。

こうしたご要望に応え、この度弊社では千葉飼料工場(今月 ISO 9001 取得)に新型の成型機を導入するとともに、栄養組成を考慮しつつ、脂肪源および炭水化物源の種類と配合率を工夫することで“安全・安心で、かつ型崩れが起き難く安定した固型性を有する”新製品を上市いたしました。また、あわせて照射滅菌タイプも上市いたしました。

この「HFD-60」で飼育した C57BL/6J マウスは、標準食餌(AIN-93M)で飼育された C57BL/6J マウスと比べますと有意に肥満としての体重増加を示し、給餌から約 3 ヶ月では体重が約 30%も多く増えるというデータが得られております。また、血糖値やその他血液生化学パラメーターにおいても、「食餌性の肥満モデル」を十分に作製できる飼料であることが、弊社の給餌試験結果から裏付けされました。

また、「肥満の多くは、生活習慣が原因である」と言われており、その研究を進めるべく「ヒトへの外挿」を考慮した場合、弊社が得た試験結果は大いにご参考いただけるものと確信しております。

製品名 : 脂肪分60%カロリー比高脂肪飼料
「HFD-60」

対象動物 : マウス、ラット

荷姿 : 2kg×5

保管条件 : 冷蔵

※ 照射滅菌タイプもございます



以上